

令和6年9月6日

令和6年度保健師等ブロック別研修会（中国・四国ブロック）

# 令和6年能登半島地震DHEAT活動を踏まえた 徳島保健所における災害への備え

## ＜本日の内容＞

1. 令和6年能登半島地震における徳島県DHEAT活動報告
2. 徳島保健所における災害への備え

徳島県東部保健福祉局 <徳島保健所>  
副局長（健康危機管理担当）  
浦西 由美

# 1. 令和6年能登半島地震における徳島県DHEAT活動報告

## ■ 徳島県DHEAT

### ■ 輪島市

派遣期間 : 2/7~2/16 10日間

活動期間 : 2/8~2/15 8日間

チーム編成 : 医師 2名

保健師 3名

業務調整員 2名

### ■ 珠州市

派遣期間 : 3/12~3/20 9日間

活動期間 : 3/13~3/19 7日間

チーム編成 : 医師 1名

保健師 2名

業務調整員 2名

## ■ 徳島県保健師チーム

派遣期間 : 1/8~4/25  
5/7~5/31

派遣日数 : 6日間、7日間

派遣チーム数 : 38班

派遣人数 : 延べ125名

・保健師76名 県保健師 53名  
市町村保健師 23名

・ロジ 49名

チーム編成 : 保健師 2名  
業務調整員 1~2名



# 1-1. 災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）について

Disaster Health Emergency Assistance Team

## 災害時健康危機管理支援チーム

活動理念：

防ぎ得た死や二次的健康被害の最小化  
できる限り早く通常的生活を取り戻す

被災都道府県等の保健医療福祉本部及び保健所が行う  
保健医療行政の指揮調整機能等を支援する

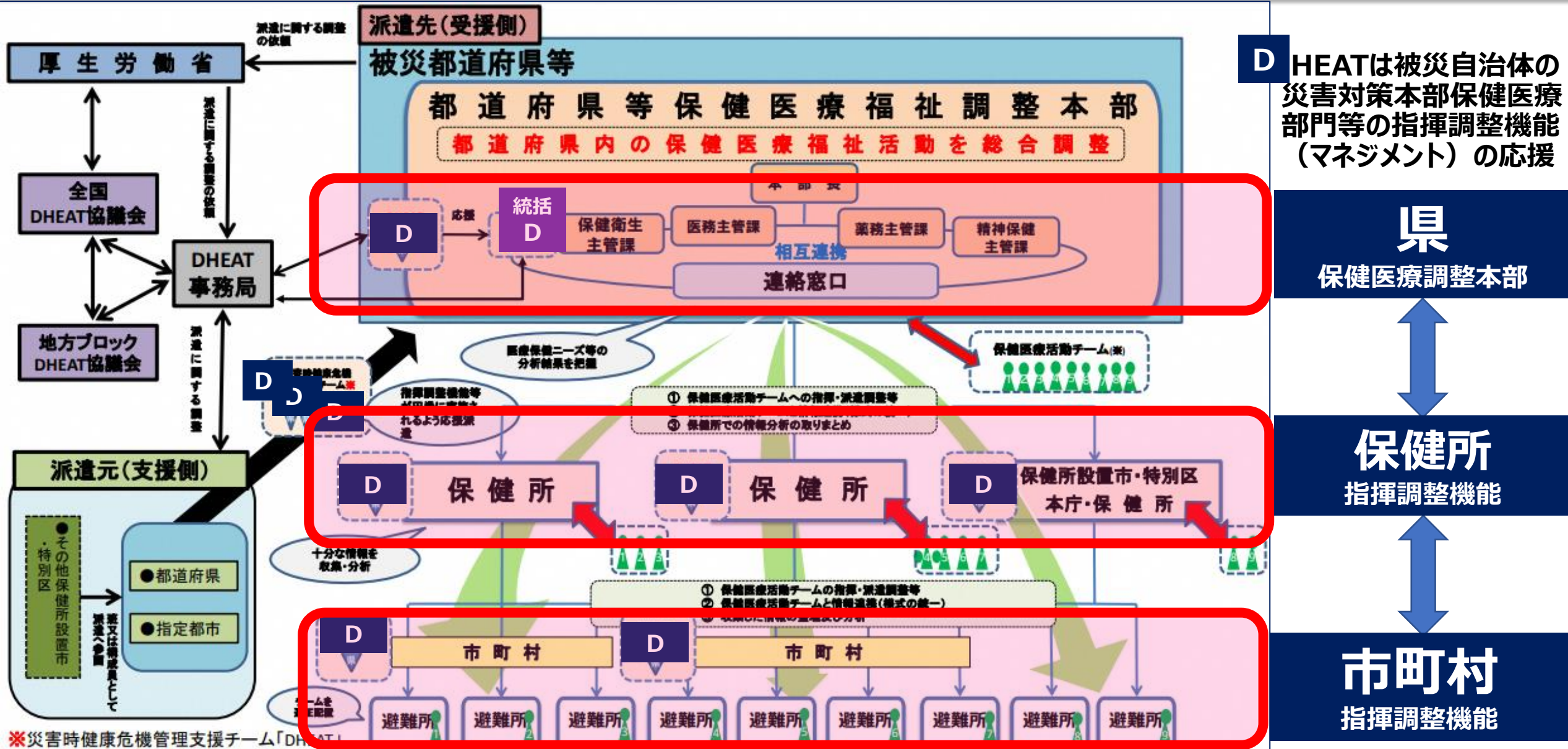
### □ チーム編成

- ・専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員の中から、  
医師、薬剤師、獣医師、保健師、臨床検査技師、  
管理栄養士、精神保健福祉士、環境衛生監視員、  
食品衛生監視員、業務調整員 等
- ・人数、現地のニーズに合わせて1班あたり5名程度で構成

### □ 主な業務

- ・災害発生時の健康危機管理に必要な  
情報収集・分析や全体調整などが円滑に  
実施されるよう、被災県等の保健所等を支援
- ・外部支援チームの有効活用、適正配分 等

# 1-1. 災害時健康危機管理支援チームの派遣



**D** HEATは被災自治体の災害対策本部保健医療部門等の指揮調整機能(マネジメント)の応援

**県**  
保健医療調整本部

**保健所**  
指揮調整機能

**市町村**  
指揮調整機能

※災害時健康危機管理支援チーム「DHEAT」(Disaster Health Emergency Assistance Team)

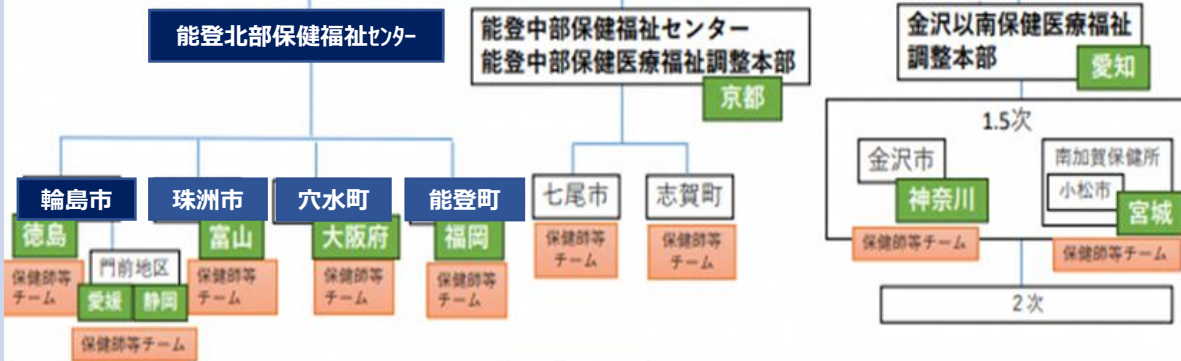
(※) (凡例) : 保健医療活動チーム (DMAT, JMAT, 日本赤十字社の救護班、国立病院機構の医療班、歯科医師チーム、薬剤師チーム、看護師チーム、保健師チーム、管理栄養士チーム、DPAT等)

# 1-2. 能登半島地震におけるDHEATの体制について

2月13日現在

## DHEAT体制

石川県保健医療福祉調整本部  
石川・北海道・東京(福祉担当) 2月13日



支援組織	能登北部保健所				能登中部保健所		南加賀以南					
	輪島市	珠洲市	穴水町	能登町	七尾市	志賀町	金沢市	石川中央保健所	南加賀保健所			能美市
	輪島市保健医療福祉調整本部(輪島市役所)	珠洲市保健医療福祉調整本部(健康増進センター)	穴水町地域医療連携活動支援室(保健センター)	能登町保健医療福祉調整本部(能登町役場)	能登中部保健福祉センター(能登中部医療圏活動拠点本部)		金沢以南保健医療福祉調整本部					
DHEAT	徳島県 愛媛県・静岡県	富山県	大阪府	福岡県	京都府		金沢以南保健医療福祉調整本部: 名古屋市					
保健師	12チーム 33人	12チーム 31人	2チーム 7人	6チーム 14人	7チーム 19人	6チーム 16チーム	8チーム 33人	2チーム 9人	3チーム 6人	3チーム 8人		

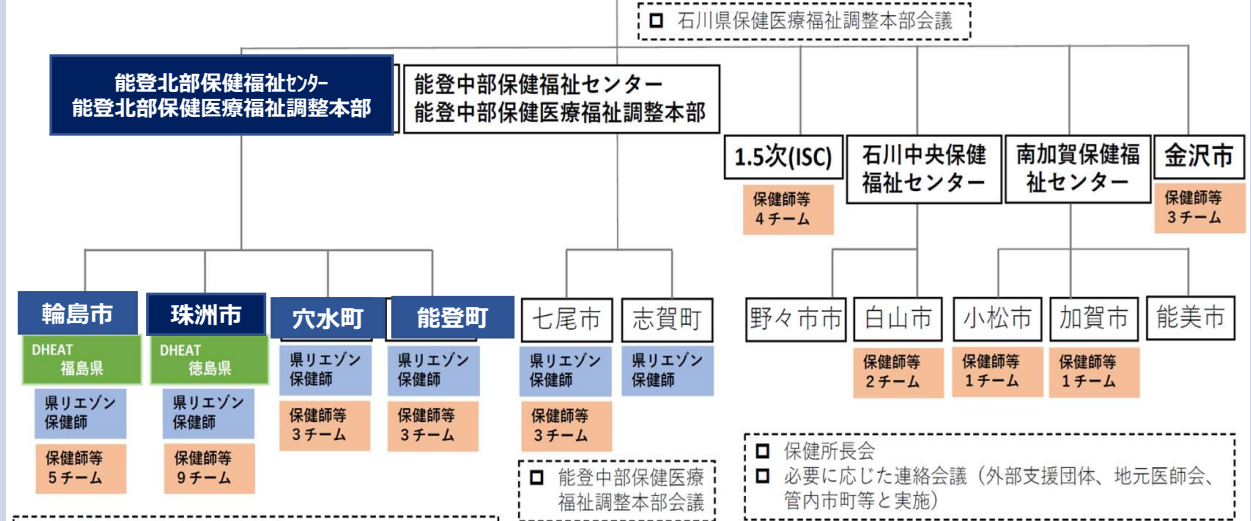
DHEAT チーム数 13チーム (10カ所)

保健師 チーム数 61チーム

3月18日現在

石川県保健医療福祉調整本部

令和6年3月18日以降 (R6.3.18現在)



- 能登北部保健医療福祉連絡会
- 輪島市:輪島市保健医療福祉調整本部会議 (WADRO) 輪島市・保健所・DHEAT会議
- 珠洲市:保健医療福祉全体ミーティング
- 穴水町:穴水町保健医療介護連携会議 (隔週火曜日)
- 能登町:能登町保健医療福祉会議

DHEAT チーム数 2チーム (2カ所: 輪島市、珠洲市)

保健師 チーム数 34チーム

2月~3月: 多くのDHEATチーム及び保健師チームが撤退した時期

<徳島県DHEATの支援方針> 配置先自治体の意向を尊重し、解決策を提案するなど寄り添い型の支援を実施

# 1-3. 輪島市において徳島県DHEATに求められた役割と活動①



輪島市役所  
(輪島市保健医療福祉調整本部)



能登北部保健福祉センター

徳島県DHEAT リーダー 医師1名

医師1名、保健師1名、業務調整員1名

## 輪島市保健福祉調整本部 (市役所)

＜輪島市における保健医療福祉機能回復に向けた支援・調整＞

- 輪島市保健医療福祉調整本部における調整業務
  - ・支援団体と保健師チームとの連携体制の構築
  - ・支援団体間の情報共有スキームの整理
  - ・市災害対策本部との情報共有・調整など
- 輪島市保健医療福祉調整本部機能を輪島市へ円滑に移管できるように総合調整 (2/6～実施主体が輪島市へ移行)

医師1名、保健師2名、業務調整員1名

## 能登北部保健福祉センター

＜保健師チームの総合調整と連携＞

- 輪島地区の避難所及び在宅要支援者の個別訪問を行う保健師チームを統括する「神戸市保健師チーム」と連携し現場ニーズを把握し支援団体に繋ぎ調整する
- 門前支所及び能登北部保健所・輪島市との情報共有及び総合調整

# 1 - 3. 輪島市において徳島県DHEATに求められた役割と活動②

## 発災後1か月（2月8日活動開始時点）

発災後から1か月経過し、DMATの体制が縮小\*するなど、急性期対応から通常の保健医療福祉活動への移行を見据えた活動が求められる時期

DMATの体制が縮小\*：2 / 4 ~ ロジのみ10~14名体制へ

## 求められた役割

### ■ 輪島市における保健医療福祉機能回復に向けた支援

- ・ 輪島市保健医療福祉調整本部における調整業務  
（支援団体と保健師チームとの連携体制の構築、支援団体間の情報共有スキームの整理、市災害対策本部との情報共有・調整など）
- ・ 輪島市保健医療福祉調整本部機能を輪島市へ円滑に移管できるように 総合調整  
（2/6~実施主体が輪島市へ移行）

⇒ DMAT及び救護班活動終了後における医療提供体制検討会を開催  
⇒ 支援団体間の情報共有スキームの整理

### ■ 輪島市街地で活動する保健師チームの調整支援

- ・ 保健師チームを統括する「神戸市保健師チーム」から現場ニーズの把握し支援団体に繋ぐ
- ・ 保健医療福祉調整本部とのパイプ役
- ・ 門前支所及び能登北部保健所との情報共有及び総合調整

⇒ 75歳以上在宅高齢者訪問の企画・調整

# 1-4. 珠洲市において徳島県DHEATに求められた役割と活動①



珠洲市役所



車で5分の距離



珠洲市総合病院



珠洲市健康増進センター



# 1 - 4. 珠洲市において徳島県DHEATに求められた役割と活動②

発災後2か月（3月13日活動開始時点）

発災後から2か月以上経過し、DMAT等の活動が縮小し、DHEAT活動も3月19日に終了となるなかで通常の保健医療福祉活動への移行を見据えた活動が求められる時期

DHEAT活動場所：珠洲市健康増進センター

求められた役割

当面（3月中）の活動方針～マネジメントの地元移行～

## ■ 珠洲市における保健医療福祉機能回復に向けた支援

- ・ 珠洲市保健医療福祉調整本部における調整業務  
（支援団体と保健師チームとの連携体制の構築、市災害対策本部との情報共有など）
- ・ 珠洲市保健医療福祉調整本部機能を珠洲市等へ円滑に移管できるように総合調整  
（4/1～本部活動場所の縮小、移転）
- ・ DHEAT業務の保健所への移行と必要な体制・支援の確保

⇒ ささえ愛センター 生活サポート部会へ移行

## ■ 珠洲市で活動する保健師チームへの支援

珠洲市の避難所及び在宅要支援者の個別訪問を行う保健師チームを統括する石川県リエゾン保健師を支援

⇒ 珠洲市仮設住宅入居世帯生活状況調査の企画支援

# 1 - 5. DHEAT活動期間中の調整会議等

主体	輪島市 (2/8~2/15)	珠洲市 (3/13~3/19)
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川県保健医療福祉調整本部会議</li> <li>高齢者施設会議</li> <li>DHEAT連絡会</li> </ul>	
保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健所ミーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>能登北部保健医療福祉連絡会</li> </ul>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪島市災害対策本部会議</li> <li>輪島市保健医療福祉調整本部会議 (WADORO会議)</li> <li>保健師ミーティング</li> <li>おone会議 (対口支援会議)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>珠洲市災害対策本部会議</li> <li>珠洲市保健医療福祉調整本部</li> <li>ささえ愛センターミーティング</li> <li>保健師ミーティング</li> </ul>

・データ共有は、Googleドライブにて実施

・要支援者の情報共有は、オフラインPC、KINTONEを使用

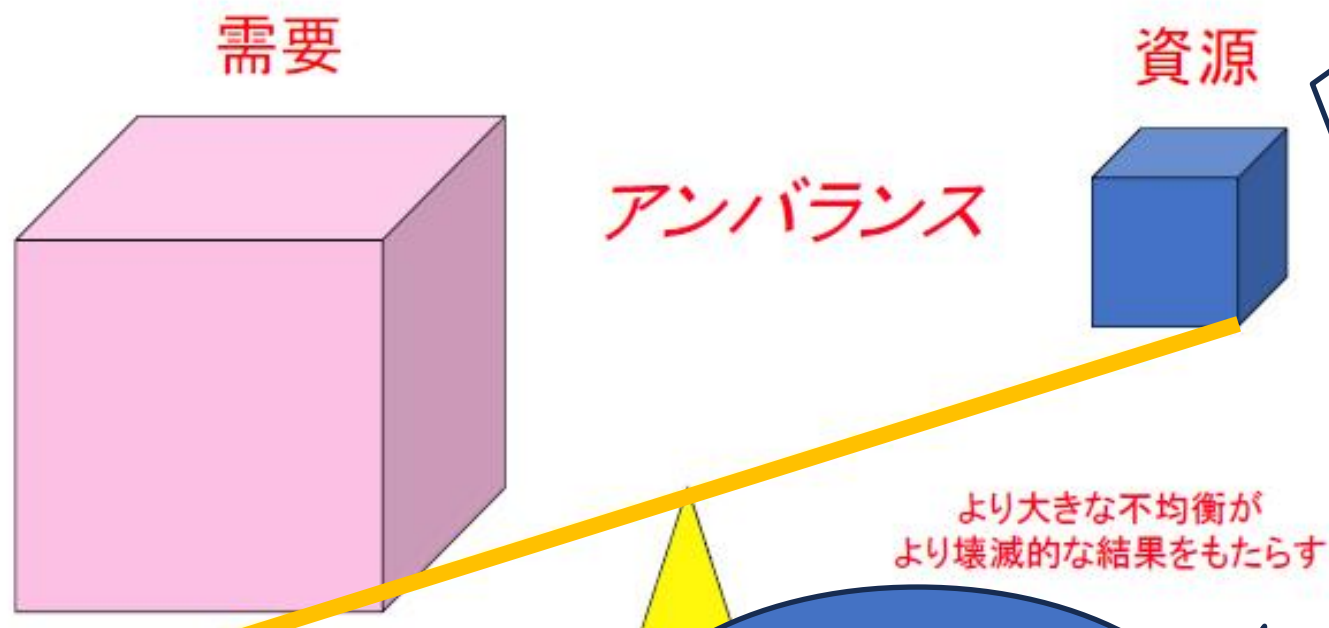
・Web会議の活用

## <使用・活用したシステム等>

- J-speed (災害診療録)
- 行政職員健康管理版 J-SPEED
- EMIS (広域災害救急医療情報システム)
- D24H (災害時保健医療福祉活動システム)

# 1 - 6. 支援団体の状況

災害では



## 多数の支援チーム

DMAT	1,139チーム
日赤	469チーム
JMAT	849チーム
DPAT	192チーム
JRAT	737チーム
JDAT	260チーム
保健師	延べ9,904名
看護師	延べ6,829名

**DHEAT 36チーム**

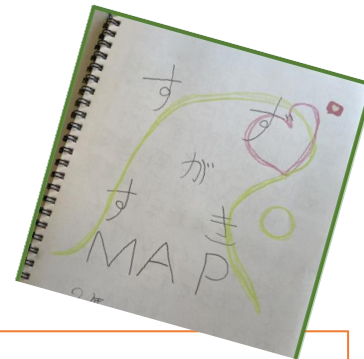
支援

県庁・保健所・  
市町村等において調整

資料：R6.3.12  
第42回災害対策本部員会議資料

# 1-7. 今回の被災地支援からの教訓

- 県、保健所、市町村それぞれの「保健医療福祉調整部門の指揮調整機能」が重要
  - 市町村防災計画等にも位置づけを
- 地域の関係機関を含め保健所における「災害時対応力の向上」
  - 災害拠点病院等の人材確保を含めた医療提供体制の確保
  - ライフラインの復旧状況にあわせたBCPの見直し及び関連施設間での共有
  - 研修・訓練の強化（活動報告、本部設置訓練、情報伝達訓練等）
  - 関係機関・関係者との顔が見える関係性の構築 等
- 市町村の保健医療福祉調整部門をバックアップする県及び保健所等の体制構築・強化
- 「統括保健師の配置」と「統括保健師間の連携体制」の構築
- 刻々と変わる状況に連動した「受援体制」の構築
- 関係者間での効率的な「情報共有」と「情報の見える化」
  - 住民の避難所間の移動や現在地の把握
  - 要支援者の情報共有システム 等
- 避難所における支え合いや仮設住宅におけるコミュニティづくり促進のため、平時より地域の「自主組織の維持・強化」および「ご近所の力の向上」



その他にも

- 地域を愛する子どもたちの育成

## 2. 徳島保健所における災害への備え



R5.9.30 大規模地震時医療活動訓練における  
現地医療対策支部機能の支援活動訓練



# 2-1. 徳島県内の保健所について



**三好保健所**  
管轄区域 1市1町  
人口 36,427人



**美馬保健所**  
管轄区域 1市1町  
人口 34,857人



**吉野川保健所**  
管轄区域 2市  
人口 72,227人



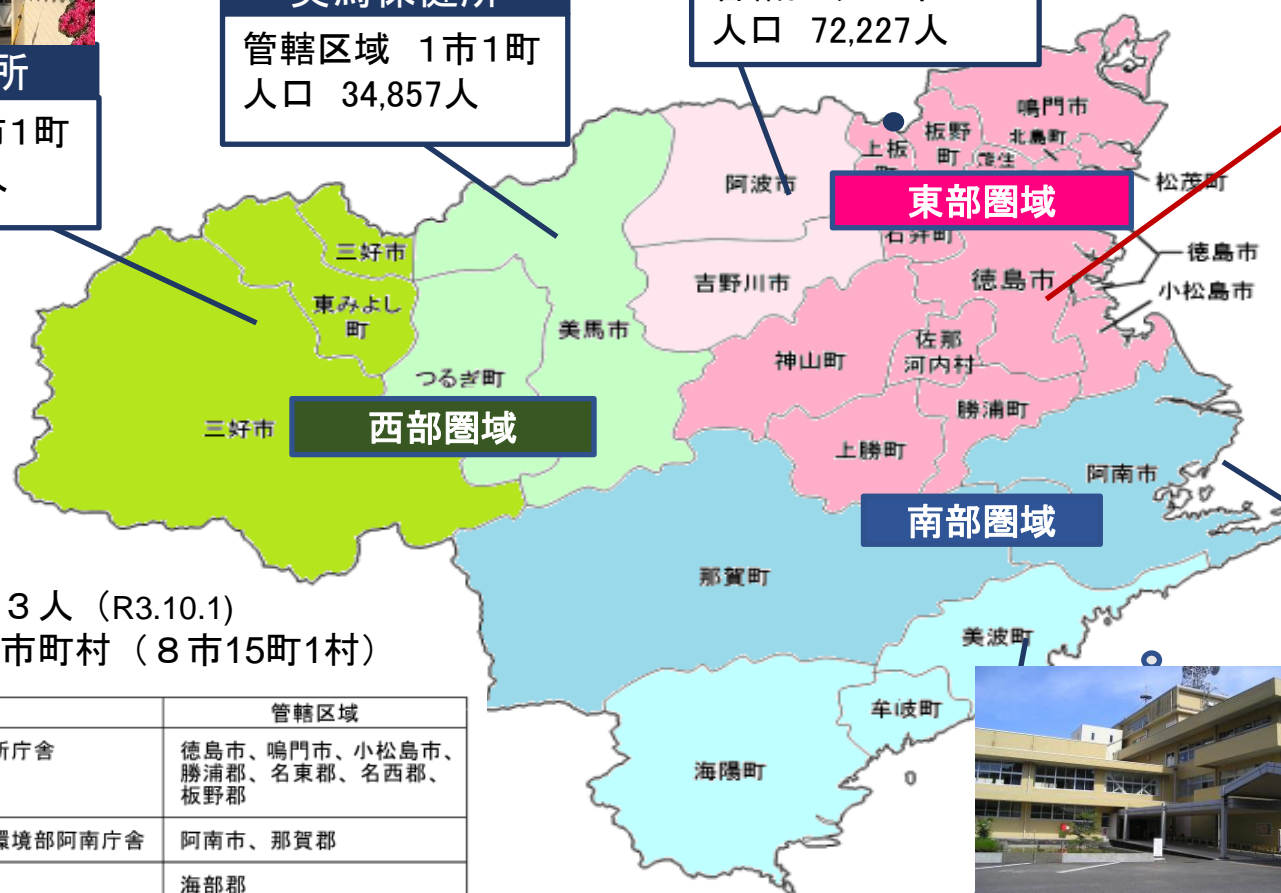
**徳島保健所**  
管轄区域 3市9町1村  
人口 474,757人



**阿南保健所**  
管轄区域 1市1町  
人口 75,738人



**美波保健所**  
管轄区域 3町  
人口 17,837人



- 人口 711,843人 (R3.10.1)
- 構成市町村数 24市町村 (8市15町1村)

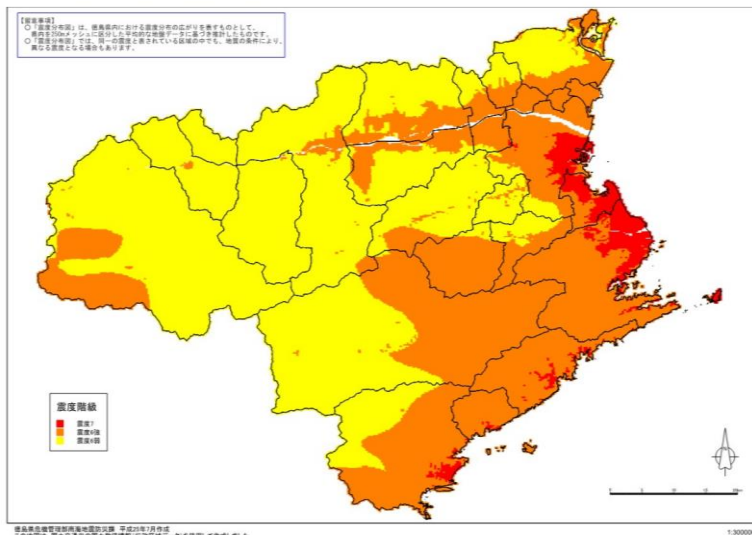
名称	管轄区域
徳島保健所 東部保健福祉局徳島保健所庁舎	徳島市、鳴門市、小松島市、勝浦郡、名東郡、名西郡、板野郡
阿南保健所 南部総合県民局保健福祉環境部阿南庁舎	阿南市、那賀郡
美波保健所 南部総合県民局美波庁舎	海部郡
吉野川保健所 東部保健福祉局吉野川保健所	吉野川市、阿波市
美馬保健所 西部総合県民局美馬保健所庁舎	美馬市、美馬郡
三好保健所 西部総合県民局三好保健所庁舎	三好市、三好郡

# 2-2. 徳島県における南海トラフ巨大地震の想定①

## ● 震度分布

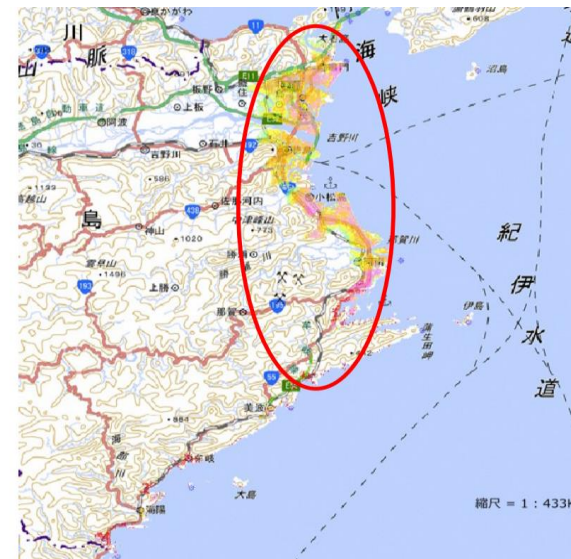
全市町村で  
震度6強以上が発生

震度7 7市町村  
震度6強 17市町村



## ● 徳島県津波浸水想定

沿岸部を中心に津波による浸水被害のため、国道11号および国道55号で甚大な被害が想定される。



## ○ 南海トラフ巨大地震における避難者想定

避難者(冬18時)

	警報解除後当日			1週間後			1ヶ月後		
	避難所生活者数	避難所外生活者数	避難者数合計	避難所生活者数	避難所外生活者数	避難者数合計	避難所生活者数	避難所外生活者数	避難者数合計
徳島保健所管内	155,890	81,630	237,590	170,540	95,240	265,680	76,070	177,660	253,830
徳島県	202,200	108,400	310,600	226,500	136,100	362,600	102,500	239,200	341,700

	入院需要			
	重傷者数	死者の1割	要転院患者数	合計
徳島保健所管内	3,090	1,690	1,500	6,280
徳島県	4,700	2,500	2,100	9,300

発災1週間後、管内人口の約半数が避難所や避難所外で生活している

# 2-3. 徳島保健所管内の災害に関する状況

## ○ 医療機関 (施設数)

	災害拠点病院	災害医療支援病院
徳島保健所管内	5	2

	病院	有床診療所	無床診療所	歯科診療所
徳島保健所管内	71	62	331	287

## ○ 災害時コーディネーター

	保健衛生	医療	薬務	介護福祉
徳島保健所管内	10(10)	19	22(4)	21(3)
県全体	41	91	52	59

※ ( ) 内は徳島保健所職員数

## ○ 徳島保健所の職員体制・人数 (R6.4.1現在)

一般職員: 72名 (うち、保健師30名)、 会計年度任用職員: 26名  
 担当: 6担当 (医療企画担当、食品衛生担当、環境試験検査担当、健康増進担当、  
 こころの健康担当、感染症・疾病対策担当)



## 参考: 徳島保健所職員数の推移

コロナに学ぶ ④ 保健所職員数の推移と人員配置

■ コロナ禍における徳島保健所・職員数の推移 (R元年度～R5年度)

年度(年月日現在)	全職員(感染症・疾病対策担当)	備考
R元(R元.5.1)	65 (10)	R2.2.25 県内1例目陽性者
R2 (R2.5.1)	66 (10)	
R3 (R3.5.1)	79 (24)	
R4 (R4.5.1)	81 (28)	
R5 (R5.6.1)	83 (17)	R5.5.8～コロナ5類に移行



## 2-4. 徳島保健所における災害への取組①

能登半島地震支援  
を踏まえた強化項目

### 1. 保健所の機能強化

- 保健医療福祉調整部門の指揮調整機能
- 受援体制の構築
- 情報共有と情報の見える化

#### 組織体制

- **所内体制確立のための取組**（「徳島保健所地域保健医療計画」の策定と進行管理、「徳島保健所健康危機管理対策委員会」による平時の備え及び意識の向上）
- **保健所機能を継続的に発揮するための取組**（BCP、初動対応マニュアル、アクションカード等の検証・見直し）
- **受援体制づくり**（受援ニーズの把握とモニタリング・調整方法等の検討、物品の準備 等）
- **ICT化の検討**（各業務におけるシステム化の実施・検討、行政PC以外のタブレット機器等の整備）
- **資材・物品の準備と管理、災害に強い保健所庁舎の検討**

- 災害時対応力の向上

#### 人材育成

- **保健衛生部門の活動指針となる「徳島県災害時保健衛生活動マニュアル」の改訂**
- **職員の対応力向上のための研修・訓練の実施**（全担当での衛星携帯を用いた通信訓練、初動対応訓練、本部設営訓練、安否・参集情報確認訓練、保健師チーム等派遣中の後方支援・所内「災害対応ミーティング」の実施）
- **災害関連研修への参加**（DHEAT研修（受講済21名、予定4名）、災害コーディネーター研修等）
- **災害時要配慮者への支援**（在宅人工呼吸器装着患者（児）のリスト化および電源確保訓練等）

## 2-4. 徳島保健所における災害への取組②

能登半島地震支援  
を踏まえた強化項目

### 2. 関係機関との連携体制の強化

- ・ 医療提供体制の確保
- ・ 市町村との連携およびバックアップ体制
- ・ 統括保健師間の連携体制構築

組織  
連携

- ・ 災害時コーディネーターとの連携強化のための調整会議及び研修会の開催
- ・ 災害拠点病院との連携強化（情報共有会議・大規模地震時医療活動訓練等）
- ・ 管内市町村との情報交換会および研修会の開催、市町村巡回・状況調査
- ・ 市町村の体制整備に係る支援（避難行動要支援者個別避難計画作成の推進・訓練実施等）
- ・ 統括保健師間のネットワークづくり（速やかな情報共有と相談体制づくり）
- ・ 各種会議への参画（徳島県防災会議、徳島県被災者支援推進ネットワーク会議等）

能登半島地震支援  
を踏まえた強化項目

### 3. 地域力の向上

- ・ 地域における自主組織の維持・強化
- ・ 地域を愛する子どもたちの育成

地域  
力

- ・ 災害への備えと対応力向上のため、防災出前講座の実施や各種会議への参加
- ・ 各事業を通じての組織育成（食生活改善推進協議会、集団給食施設協議会、ピアサポーター等）
- ・ 医療的ケア児の災害対応デイキャンプへの参画